

今週の話題:

< 渡航者に対する通達 >

ドミニカ共和国 - 修正されたマラリア予防の勧告

低いマラリアの危険 - もともと熱帯熱マラリア原虫は、西部の田園地域に年間を通して存在している。最近、熱帯熱マラリアの集団発生が、観光リゾートである東部のLa Altagraciaにおいて報告されたが、これは建設活動と最近のハリケーンによって引き起こされた環境変化が関連している。しかし、多くの抗マラリア薬に抵抗性の熱帯熱マラリア原虫に関する証拠はない。

La Altagraciaのリゾートを含む危険地域で奨励される予防内服はクロロキンによるものである。

ドミニカ共和国の保健省は、マラリア抑制措置を実施している。それには、La Altagraciaにおける集団発生に対して、監視の強化、迅速な症例管理、徹底的な蚊のコントロール活動が含まれる。

熱帯熱マラリアは、治療が発熱の徴候後24時間以上遅れると致命的となる。危険地域に到着し、一週間後に発熱し、帰国まで3ヶ月（またはまれにもっと遅い）の渡航者は、直ちに通院し、考えられるマラリア感染の疑いを医師に知らせるべきである。

ドミニカ共和国に対するマラリア予防内服の勧告は、2005年3月に、再検討される。

< 79巻、2004年、1号-52号までの索引 > (WER参照)

< アフリカの子供を生存させる新モデル：トーゴの子供に対する4つの統合された保健キャンペーン >

トーゴの子供達は、この種の全国キャンペーンとしては初めてであるが、4つの救命医療を一度にうけることになる。2004年12月13日に開始された画期的なキャンペーンは、麻疹とポリオを予防するためのワクチン接種、マラリア感染を防ぐための蚊帳、寄生虫を駆除する錠剤で、5歳以下の百万人の子供達に行き渡らせる計画である。アフリカにおいて、麻疹とマラリアは、2つの最大の死亡原因である。もし広範囲に実行されれば、これらの全国規模の統合キャンペーンはアフリカにおいて子供の死亡を減少させる唯一の最も重要なステップとなる。このような創造的な新しいアプローチは、数千人の救出を保証するための鍵となる。

12月13日から19日まで行われるトーゴの統合キャンペーンでは、国中の子供約百万人が対象とされた。子供たちの多くは田園地域に居住しており、道路事情が悪いためにほとんど近づくにくい地域に居住する子供もいた。予防接種キャンペーンは、貧しい国々のほとんどすべての子供が対象とされる。救命活動をするために予防接種を行うことは、子供の死亡率を減少させるミレニアム・ゴールを成し遂げるための主要な貢献となるであろう。

540万USドル以上をこのキャンペーンに費やし、そのうち約79万USドルは、国連基金、米国疾病管理予防センター（CDC）、アメリカ赤十字社、カナダ国際開発局のような協力団体の支援を通じて、UNICEFとWHOによって調達された。さらに、2680人のボランティアと1910人のワクチン接種実施者が、この4つの救命活動で5歳以下のすべての子供を守るために募集された。

1990年以来、トーゴは麻疹による死亡率の低下に相当な努力をした。2001年に実施された“患者を見つけて治療”するキャンペーンでは、15歳以下の子供の95%以上がその恩恵を受けた。トーゴは、1996年から2001年の期間に比べて麻疹の死亡率を99%も縮小した。この成功のほとんどは、より多くの子供にワクチン接種が受けられるよう母親達を支援する近隣の保健委員会、宗教家、地域の指導者を動員した全国的な接種日によるものである。

定期的な予防接種の接種範囲の改善にもかかわらず、2001年以降に生まれたトーゴの子供達の約半数は、麻疹感染の危険がある。麻疹は、予防可能であるが毎年世界で3千万人以上の子供が罹患し、54万人以上が死亡する深刻な疾患である。無料の蚊帳の配布と麻疹ワクチンの予防接種が、より多くの子供達に行き渡ることが望まれる。

トーゴにおいてマラリアは、全体の人口を脅かす年間を通しての問題である。それは、毎年数千人の死亡と公衆衛生支出額の40%の消費を招いている。これらの死亡の多くは、長期間の効果が期待される殺虫剤を染み込ました蚊帳（LLIN）の使用を通して予防することができたかも知れない。しかし2003年に、5歳以下のトーゴの子供達のたった15%しか蚊帳の中で寝ておらず、かろうじて2%がLLINの配布を受けていた。現在、貧困が蚊帳を所有することに対する大きな障壁である。蚊帳一つの値段は、たった2-5 USドルであるのに、それは貧しい家族が買える範囲をまだ超えている。

UNICEFとWHOは、その価格がすべての幼い子供と妊婦が利用できるマラリアの予防策あるいは治療法を整えるための障壁になるべきではないと思っている。マラリアは、いまだにアフリカの子供にとって最大の死亡原因であり、30秒ごとに1人の子供の命を奪ってゆく。100万人を超える人々が毎年マラリアで死亡し、うち90万人超が5歳以下の子供である。マラリアによる死亡のおよそ90%は、サハラ以南のアフリカで起こっている。

複数の活動を同時に実行する公衆衛生は、小規模で注目すべき成功を収めているが、国際レベルではまだない。無料のLLINと麻疹ワクチンのほかに、トーゴの子供達はまた、以下を受けるであろう。:

- ・ 小児麻痺や感染性が強く麻痺や時として死亡の原因となり得る様な不治の病である神経系のウイルス感染を予防するためのポリオのワクチン接種;
- ・ 消化管寄生虫の駆虫薬を使った定期的な治療、感染強度を弱めること。消化管寄生虫は、栄養失調、重篤な貧血症、遅延する思春期と学習と記憶の問題の重要な原因である。

これらの他の処置に加えて、麻疹とマラリアの予防と治療は、同じ保健基盤を必要とし、さらに重要なことは、攻撃されやすいグループである子供達を目標に定めることである。政府は、一度にこれら4つの対策をまとめて実施することによって、資金を節約し、かつ人々の生命を救うことができる。

(大瀧誠、西山馨、宇賀昭二)